

あのときの常呂・写真館

VOL 175

(1983年)

昭和58年11月1日 開基百年手形柱完成・除幕



▶昭和58年6月号の「広報ところ」は、「六千人の手形 いよいよ製作へ」と見出しを付け、開基百年記念事業として町民全員の手形を採取・タイル張りの柱に記念として残す事業の始まりを伝えています。●計画は、自筆署名入りの信楽焼の手形タイル170人分を両面に貼り付けた1枚を基本にして6枚の羽状からなる手形柱6基を百年広場通路横に設置するもの。北海道陶芸協会の協力を得て、旧常呂中学校「柏寮」裏に据えた「常呂流水窯」の火入れ式を5月

20日に行い、6月からは役場職員が担当エリア町民の手形を採取することを紹介しています。●「広報ところ」7月号の表紙には、町民の手形採取の状況が順調に進んでいること、9月中には完了することを「扉は語る」で報告しています。●当日は、開基百年之碑（右写真）除幕式（8:30）に続き、手形柱除幕式（8:50）を百年広場で行い、記念式典（10:00）に移りました。





下：流水釜の火入れ式



左：町民の手形採取

下：流水窯の部屋の入り口（火入れ式前）

下：採取した手形
焼き上げ前の乾燥中



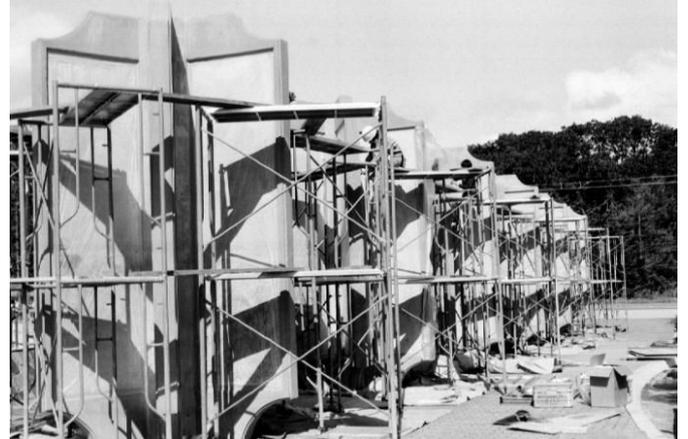


左：焼き上げる作業中

下：焼き上がった手形タイル



下2枚：建設・設置作業中の
手形柱



左：平成12年11月、手工芸の館前に新たに3基の手形柱が建てられました。昭和58年以降の出生・転入者、佐川町・大野町・バーヘッド町から訪問された人たちや諸行事の講師としてお招きした方々の手形も貼り付けています。
(現在はもう1基
増えています)